

2010年3月期 第1四半期 連結業績について

2009年7月29日

住商情報システム株式会社

取締役 常務執行役員 福永 哲弥



住商情報システム株式会社

Sumisho Computer Systems Corporation

【連結】

(単位:百万円)

	08年4月 ～ 08年6月	09年4月 ～ 09年6月	増減額	増減率
売上高	29,779	28,311	△1,468	△4.9%
売上総利益	6,710	6,650	△59	△0.9%
販管費	5,859	5,983	123	2.1%
営業利益	851	667	△183	△21.6%
経常利益	975	795	△179	△18.4%
四半期純利益	514	224	△290	△56.4%

【連結】

(単位:百万円)

	08年4月 ～ 08年6月 (構成比)	09年4月 ～ 09年6月 (構成比)	増減額	増減率
業務系 ソリューション	14,574 (48.9%)	13,715 (48.4%)	△859	△5.9%
ERP ソリューション	3,874 (13.0%)	4,172 (14.7%)	297	7.7%
プラットフォーム ソリューション	11,329 (38.1%)	10,423 (36.9%)	△906	△8.0%
合計	29,779 (100.0%)	28,311 (100.0%)	△1,468	△4.9%



売上高比較 -売上区分別-

【連結】

(単位:百万円)

	08年4月 ～ 08年6月 (構成比)	09年4月 ～ 09年6月 (構成比)	増減額	増減率
ソフトウェア開発	9,809 (32.9%)	10,873 (38.4%)	1,063	10.8%
情報処理	8,484 (28.5%)	8,424 (29.8%)	△59	△0.7%
システム販売	11,485 (38.6%)	9,013 (31.8%)	△2,472	△21.5%
合計	29,779 (100.0%)	28,311 (100.0%)	△1,468	△4.9%

〔受注高〕 ソフトウェア開発	16,256	16,438	182	1.1%
〔受注残高〕 ソフトウェア開発	12,410	12,595	184	1.5%

【連結】

(単位:百万円)

09年4月～09年6月	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	6,963	4,135	2,616	13,715
ERPソリューション	3,176	137	857	4,172
プラットフォームソリューション	733	4,151	5,538	1,0423
合計	10,873	8,424	9,013	28,311

08年4月～08年6月	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	7,123	4,651	2,799	14,574
ERPソリューション	2,255	158	1,461	3,874
プラットフォームソリューション	431	3,673	7,224	11,329
合計	9,809	8,484	11,485	29,779

差額	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	△159	△516	△183	△859
ERPソリューション	921	△20	△603	297
プラットフォームソリューション	301	477	△1,685	△906
合計	1,063	△59	△2,472	△1,468

【連結】

(単位:百万円)

	08年4月～08年6月		09年4月～09年6月		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
製造	7,872	26.4%	8,207	29.0%	335	4.3%
流通	6,458	21.7%	7,595	26.8%	1,136	17.6%
金融	3,655	12.3%	3,609	12.7%	△46	△1.3%
銀行	1,178	4.0%	1,438	5.1%	259	22.0%
証券	984	3.3%	526	1.9%	△458	△46.6%
信販・リース	593	2.0%	585	2.1%	△8	△1.4%
生保・損保	899	3.0%	1,059	3.7%	160	17.8%
通信・運輸	4,852	16.3%	4,136	14.6%	△716	△14.8%
電力・ガス	249	0.8%	332	1.2%	82	33.3%
サービス他	6,690	22.5%	4,430	15.6%	△2,260	△33.8%
合計	29,779	100.0%	28,311	100.0%	△1,468	△4.9%

※一部データの修正があり、前年度の業種別売上金額に変更があります。



売上高分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~6月)

合計	△ 15 億円
増加要因	+ 23 億円
会計基準変更による影響 (工事進行基準適用)	+ 23 億円
減少要因	△ 38 億円
▶ 業務系ソリューション ・ 製造業向け関連 ・ 証券業向け関連	△ 7 億円 △ 5 億円
▶ プラットフォームソリューション ・ 学術・官公庁関連 ・ ネットワーク機器関連	△ 14 億円 △ 5 億円
▶ 前期子会社吸収合併時の会計処理上の加算に係る反動減	△ 5 億円
▶ その他	△ 2 億円



売上総利益分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~6月)

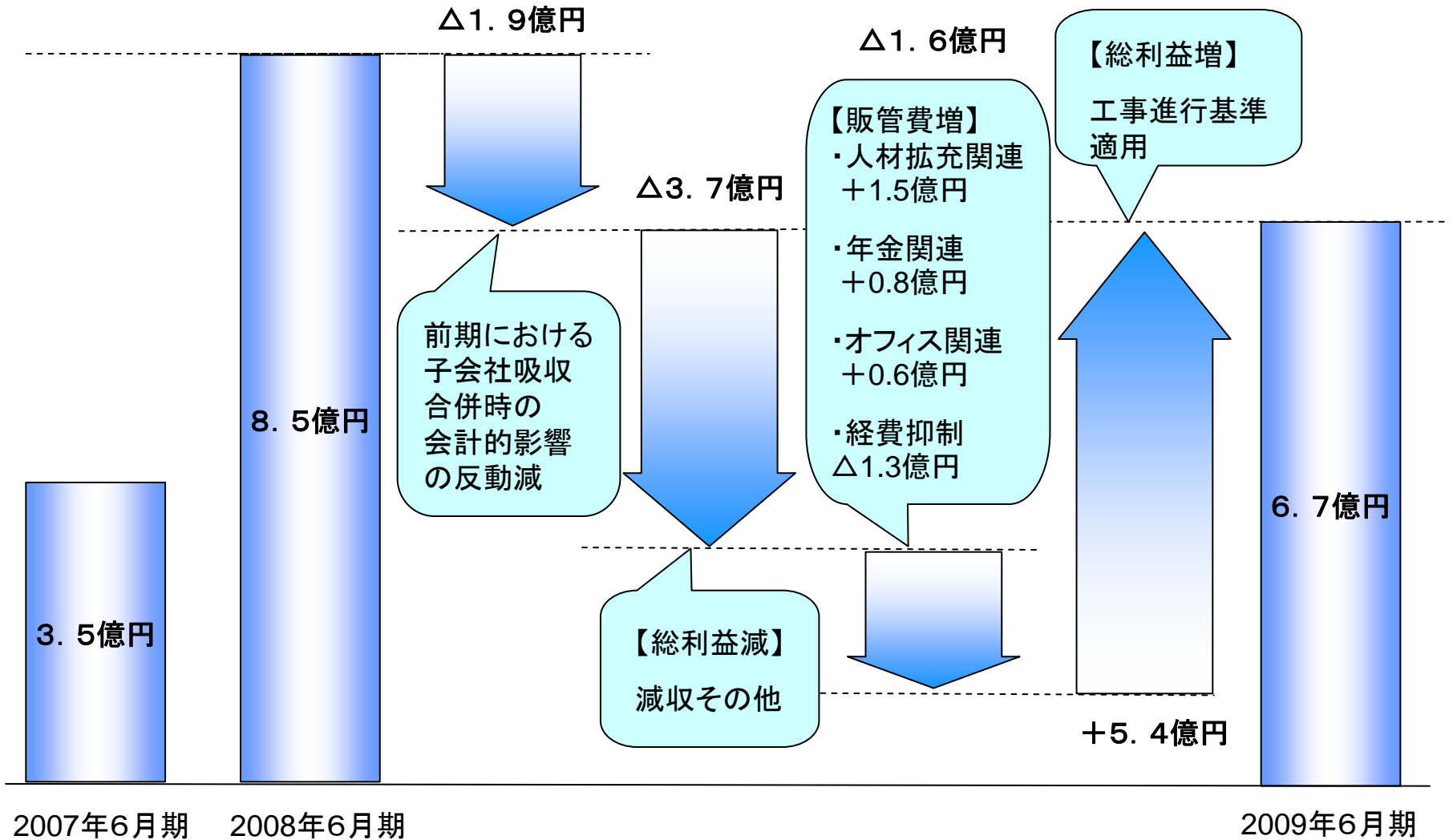
合計	△0.6億円
増加要因	+5.4億円
会計基準変更による影響 (工事進行基準適用)	+5.4億円
減少要因	△6.0億円
➤ 業務系ソリューション	
・ 製造業向け関連	△1.9億円
・ 証券業向け関連	△0.6億円
➤ プラットフォームソリューション	
・ 学術・官公庁関連/ネットワーク機器関連	△0.4億円
➤ 前期子会社吸収合併時の会計処理上の加算に係る反動減	△2.3億円
➤ その他	△0.8億円



販管費分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~6月)

合計	+ 1. 2 億円
増加要因	+ 2. 9 億円
> 人材力拡充関連費用	+ 1. 5 億円
> 年金関連費用	+ 0. 8 億円
> オフィス関連費用	+ 0. 6 億円
減少要因	△ 1. 7 億円
> 経費抑制	△ 1. 3 億円
> 前期子会社吸収合併時の会計処理上の加算に係る反動減	△ 0. 4 億円

営業利益分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~6月)



09年度に入ってから経済全般においては、一部持ち直しの兆候は見られるものの、国内民間需要は、企業収益の悪化及び雇用情勢の悪化等を反映し、低調に推移

特に、情報サービス産業においては、顧客企業のIT投資抑制・先送り、単価下落といった厳しい事業環境が継続

- 各顧客企業においては特に製造業を中心に厳しい業務環境下、今年度のIT投資予算を極めて低位に設定。かつ予算執行においても慎重姿勢が目立つ。
- しかしながら、案件動向については第1四半期を通じて厳しい状況にあったものの、6月に入ってから、特にITプロダクト外販売等の案件数増加の兆しが少しずつ見え始めており、各社における在庫調整の進捗、消費者心理の改善等業務環境の戻りを意識しつつ、IT投資の検討が徐々に再開されつつあるものと考えられる。

市場環境のSCSにおける影響及び施策

製造
ソリューション

当社顧客においても、自動車業界を中心とした輸出関連企業の設備投資(含IT投資)は引き続き大幅抑制、一方でR&D関連へのIT投資は継続

【施策】

顧客企業の競争優位獲得に向けたR&D領域のソリューションに経営資源を集中するとともに、経費効率化に注力

金融
ソリューション

金融業界全般では、業績悪化を背景にIT投資抑制傾向が強いが、当社における顧客需要は保険業向け及び銀行業向けを中心に特定顧客案件が堅調に推移。当社としては、保険業向けソリューション等に対し経営資源を戦略的にシフト

【銀行】業界全般においてはIT投資抑制幅縮小、当社における顧客需要は堅調

【証券】引き続き厳しいIT投資抑制・先送り

【生損保】業界全般においてはIT投資抑制も、当社における顧客需要は堅調

ERP
ソリューション

中長期的には市場の伸びが予測されるものの、足元状況は潜在顧客の投資資本不足が懸念材料。当社においては、中大型案件を中心に堅調に推移

【施策】

内需関連企業をターゲットに、パートナーを活用の上各種マーケティング施策等を強力に推進するとともに、生産性・収益性の向上に注力

プラットフォーム
ソリューション

ITインフラ構築の更新需要やネットワーク機器販売の縮小、さらには顧客の保守費用抑制が顕著

【施策】

優良企業群に対して、「仮想化」「クラウド」をテーマにマーケティング戦略を推進

➤ 経営陣の交代

厳しい事業環境の中、更なる企業成長に向け、経営体制を一新

代表取締役会長兼社長： 中井戸 信英

代表取締役副社長： 露口 章

➤ 今後の経営課題

- ・経営資源配分の戦略的見直し
- ・オフィス移転も含めた職場環境改善策の検討
- ・人材力の更なる強化

今後とも皆様のご支援
ご鞭撻を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。

グローバル戦略	09.06.02	インドIT企業インフォビューと協業、ASEAN のERP サポート体制構築
流通	09.04.01	流通BMS対応EDI支援パッケージ販売開始
	09.05.07	流通BMS対応、インターネットEDIシステム「BACREX」販売開始
ProActive	09.04.08	インテックと「ProActive E2」のビジネスパートナー契約を締結
ERP	09.04.06	商社、流通業界向け基幹システム導入の診断サービス開始
	09.04.08	「SAP(r)ERPアプリケーション」と連携するアダプタ製品を開発・販売開始
セキュリティ	09.05.13	Qualys のSaaS 型オンデマンドサービス 「脆弱性統合管理支援サービス」の提供開始
	09.05.20	F5 ネットワークスとWeb アプリケーションセキュリティ分野にて協業開始
サービス	09.06.16	エンタープライズ向けクラウド基盤サービス提供開始
	09.06.25	日本のSierとして初、「Medidata Rave®」を核とした 臨床試験データ管理支援をワンストップサービスで提供開始
	09.07.14	「Google Apps Premier Edition」のグローバル販売開始

サーバ・ストレージ	09.04.07	DataCore Software社製ストレージ仮想化ソフトウェア「SANmelody/SANsymphony」を販売開始
	09.07.13	サーバー内蔵型(PCIe)SSD製品、「ioDrive Duo」の販売開始
	09.07.15	マラソンテクノロジーズ及びマイクロソフトとWindows Server® 2008 のフォールトトレラント分野にて協業
OSS	09.04.07	レッドハットとオープンソースソフトウェアを採用した「SCSメールソリューション」での協業開始
Curl	09.05.12	RIA向けコンポーネントライブラリをオープンソースで提供
	09.05.19	エンタープライズRIA開発フレームワークをオープンソースで提供
	09.05.26	エンタープライズRIAのCurl Ver. 7.0日本語版リリース
その他	09.05.22	北部九州研究者にCell/B.E.を用いた高度システム基盤を提供
	09.06.04	(株)スタッフサービス向け、特定派遣会社向け勤怠管理システム「Web タイムカードシステム」を導入
	09.07.04-12	[CSR活動] スペイン・ビルバオ交響楽団 日本公演協賛